

定例市長記者会見録

日 時：10月24日(木) 午前11時～11時30分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、時事通信社

本日の案件は四つです。

1番目は「一宮市版MaaSサイト『イッテミーヤ』の運用を開始します」についてです。

MaaS(Mobility as a Service)ということで、移動サービスを提供するウェブサイトの名古屋鉄道(株)さんとの共同事業で11月1日(金)からスタートします。バスのデジタルチケット購入、「i-バスミニ」という予約制の乗り合いタクシーや民間タクシーの予約、バスの運行情報のリアルタイムでの確認などを行うことができます。

今回、サイトの立ち上げに合わせて、65歳以上および18歳未満の方は、通常800円の「一宮おでかけバス手形」が200円引きの600円で買えるというキャンペーンを2025年3月末まで行います。販売数の上限は2,000枚で、クレジットカードでの支払いになります。ぜひご利用いただければと思います。こうしたMaaSサイトは春日井市と常滑市が実施していますが、西尾張地域では一宮市が初めて導入します。市ではさらに発展させ都市OSでのデータ連携を進めています。部署の垣根を超えて、さらに官民の垣根も超えて、市が保有しているデータを利用してもらえればと思っています。例えば65歳以上、18歳未満などの年齢確認は、現状では自己申告制で氏名と生年月日を記載すれば買えてしまい、実際に使用する際に、運転士が目視で65歳以上、18歳未満などの年齢を判断しています。ゆくゆくは都市OSとの連携により、細かい情報を入れなくても登録データから利用者が優待券などの対象かどうかをスムーズに判断できるようにすることも、DXの枠組みの中で検討を進めていきます。

2番目は「『世界糖尿病デー』で民間団体と市民病院がコラボイベント」についてです。

2014年から世界糖尿病デーにあわせて毎年イベントを実施していますが、今回はパワーアップして、より盛大に開催します。民間企業やNPO法人など16団体で構成される「地域共生コミュニティつながる一宮」との共催になります。開催日は11月15日(金)です。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日で、国際連合が公認する「世界糖尿病デー」になっており、毎年この時期に世界各地で糖尿病の予防などに関する啓発キャンペーンが行われています。イベントの内容は、芝生広場ではVR(バーチャルリアリティ)が体験できる「おなか体験ツアー」や、「ハンドケア」など、病院内では「血糖値測定」などがあります。ぜひお立ち寄りいただき、糖尿病や血糖値に気をつ

けようという動きが広がればと考えています。

3 番目は「理工チャレンジ応援セミナーを開催します」についてです。

理工系を目指す女性のチャレンジを応援するセミナーで、当初 9 月 7 日を予定していましたが、諸事情で延期となっていたものです。このたび 12 月 7 日（土）に開催することになりました。講師のズナイデン房子さんは、大学を卒業後、化粧品会社の(株)資生堂に就職し、その後、日清食品(株)を経て、日本マクドナルド(株)でテレビ CM を中心としたマーケティングを担当されるなど、日本のマーケティング分野の第一人者としてご活躍されている方です。女性に限らず、関心ある方はお越しいただければということで取り上げました。私も楽しみにしています。

4 番目は「『欧州における尾州ブランドプロモーション、ファッション・芸術交流事業』の報告」についてです。

私が 10 月 14 日から 20 日まで行ったフランス出張の報告です。今回の柱はファッションと芸術で、それぞれのミッションや成果を報告させていただきます。

LVMH グループ内に伝統工芸技術を継承・発展させるために設立された LVMH メティエダール社があり、その CEO であるマッテオ氏とお会いして尾州の話をさせていただきました。いいものを高く売るところを高付加価値の源泉として、機械で大量に安く作るのではなく、世界各地にある職人の技を大切にしたいというメティエダール社の理念に対して、尾州も全く同じ考えで、ジョンヘル織機などの良さが失われないように頑張っているという話をさせていただきました。さらに私からは工場排水の処理について、尾州では染料などのさまざまな化学薬品を使うため、環境に悪影響を与えないように特定公共下水道（特水）による管理を半世紀前から行ってきた話もさせていただきました。もともと LVMH ジャパンの方から、LVMH メティエダール社に尾州を認定してもらうためには、その CEO に会うといいとのアドバイスがあり、このたび訪問しました。先方の CEO から色良い返事があり、次に日本に来る際は尾州を訪れたいという言葉いただきました。

次に、三岸節子さんが 60 代・70 代のころに 20 年近く滞在し、多くの作品を残されたヴェロン村を訪れました。2025 年の三岸節子さん生誕 120 年に向けて、日仏ともに盛り上げていきたいと思いますという話をさせていただきました。村長さんが体調不良でお会いできなかったのは残念ですが、6 年前に一宮市にお越しいただいた副村長さんといろいろな話ができました。やはりすごいなと思ったのは鳥山明さんです。三岸節子記念美術館の前には鳥山明さんの母校である起工科高校があると伝えると、60 代半ばの副村長さんたちも、とても驚いていました。例えば、サマースクールなどで夏休みに鳥山明さん出身の起工科高校でデザインを学べると言ったらフランスの若者はいっぱい来るとの意見もありました。一宮市の若者をフランスに送り込む構想もありますが、逆にフランスの若者に一宮市が鳥山明ゆかりの地だと伝えればみんな行きたがるというのがフランス人の反応でした。鳥山明

さんが亡くなられた時は、マクロン大統領も X に日本語で追悼のコメントを発表されていましたが、やはり日本が持ついろいろな力を、もっとうまく使っていけたらと思えるきっかけを得られた訪問となりました。

次に、自治体国際化協会です。総務省の外郭団体で、こちらの所長さんともいろいろ意見交換をしました。

次が GOËN（ゴエン）です。長野県欧州貿易支援機構のアンテナショップですが、長野県に限らず全国の特産品を扱っています。徳島県のものもたくさん並んでいました。ここには、いいものを高く売るという流れがありました。パリのユニクロも見ましたが、価格が日本の2倍以上でもすごい人気で賑わっていました。この GOËN でも、本物の日本食が欲しい人たちは高い値段を払ってでも買うようで、例えば日本では数百円で売っている徳島県産のゆずポン酢が数倍の値段でも売れるとのことでした。こうした流れに一宮がどう乗っていけるかという話をしました。

次に、日本貿易振興機構パリ事務所（JETRO PARIS）を訪問し、田村事務所長らといろいろな話をしました。出張前にも、一宮の企業さんと話しましたが、今、ヨーロッパの企業が厳しく言うのが人権に関する認証です。奴隷労働のような形で製品が作られていないかとか、適正な賃金が支払われているかといったものです。日本の技能実習制度については、評判が良くないのでそこは大丈夫かという話や、動物福祉については、例えば羊が虐待されていないかなどいろいろな条件があるという話題が出ました。こうした認証制度は民間主体で動いているので、分野や企業グループごとに力の入れ具合に差があり、行政の絡み方として難しいとのことでした。しかし、一宮市としては、地域のテキスタイルの高付加価値化を推進する上で、うまく欧州のラグジュアリーブランドと組めるといいので、新年度予算では何らかの形で公的支援などの一歩踏み込んだ形で動きたいと考えています。

次が、STATION F で、今度、名古屋市にできる STATION Ai のお手本になったところです。(株)ヘラルボニーという障害のある方の作品を展開する新興企業（本社：岩手県盛岡市）があり、ここの T シャツなどのアパレル製品に尾州の生地を使っています。施設を詳しく案内していただき、いろいろな話を聞くことができました。こちらで得た情報も、名古屋の STATION Ai との関わり方に生かしていくことにしています。

次に、在フランス日本大使館で、これはデジタル関係での訪問です。フランスは確定申告で紙を使わずにネットで行うと税金が 5%引きになるなど、非常に分かりやすいインセンティブで利用を広げているそうです。

最後は、ルーヴル美術館で開催されたアートフェア・展示会です。一宮市在住のアーティストの方の作品が展示されていたのでお邪魔しました。

出張の報告は以上です。フランスまでは片道 18 時間ほどの長旅でしたが、経費削減もあり飛行機はビジネスクラスを使わずプレミアムエコノミーを使用しました。多少の疲労もありましたが、多くの方から貴重な話が聞くことができ、現地の様子も確認できたため、非常に有意義で手ごたえを感じた出張でした。

私からの説明は以上となります。

質疑応答

■一宮市版 MaaS サイト『イッテミーヤ』の運用を開始します

(記者) 導入のきっかけは、都市 OS 事業の一環として官民データ連携を進めるためですか？

(市長) はい。中長期的にはそこを視野に入れて動いていますが、まず第一歩として、現時点では名古屋鉄道(株)さんが春日井市さんや常滑市さんと組んでやっているサイトの一宮市版になります。

「おでかけバス手形」があると名鉄バスも i-バスも市内で自由に乗れますが、これまではこのチケットを買うための販売所が限定されていました。これからは、自宅からでも 24 時間ネット経由でチケットの購入ができるようになるので、最寄りのバス停から乗り放題を利用でき、利便性が高まります。

■『世界糖尿病デー』で民間団体と市民病院がコラボイベント

(記者) 今回からパワーアップするとのことですが、きっかけや理由はありますか？

(職員) 民間団体の方から市民病院とのコラボのご提案がありました。

(市長) 参加する民間団体も昨年の 9 団体から 16 団体に増え、ありがたいことに関係業界や団体の皆さまから盛り上げようという気運が高まっていると受け止めています。

■「欧州における尾州ブランドプロモーション、ファッション・芸術交流事業」報告について

(記者) 今後どのように進めていく予定ですか？

(市長) 難しいのは、市内の繊維関係の企業さんの立ち位置がそれぞれ違うことです。最近、ジェトロ名古屋が、中国のアパレル企業のバイヤーさんを日本に呼んで、ツアーをやっています。中国の国内で作るスーツや洋服などの生地として、尾州の素材を中国企業が大量に買い付けてくれています。フランスの LVMH グループでも現に尾州の素材はたくさん使われていて、それなりの値段で買ってくれています。しかし、ボリューム的には中国ほどの出荷量がないとなると、品質基準を満たす証明など LVMH グループから求められる煩雑な手続きをしてまで取引しなくてもいいと考える企業さんもいらっしゃいます。

行政としては地域ブランディングということで、市民の分かりやすさの観点から、欧州のラグジュアリーブランドで尾州生地が使われていることを堂々と言いたい思いがあります。企業さんがそれぞれ直接 LVMH グループなどの企業と交渉するのがビ

ジネスの本来のルートかもしれませんが、シビックプライドの観点から、市長である私がずっと動いてきたという状況です。現に西陣や倉敷でも各企業がLVMH メティエダール社と協定を締結しています。LVMH メティエダール社が各企業を認定するという形です。そういう意味では、一宮市や尾州の動き方はちょっとイレギュラーではあります。

今回、経済産業省の見通しや最新動向などの情報も得られましたので、そうした情報も併せて、この地域にいろいろ展開して反応を見て、次のステップとしてどう動いていくのかを考えていきたいと思っています。

(記者) 2025 年は三岸節子の生誕 120 年ですが、何か決まっているイベントはありますか？

(市長) まだ決まっていません。盛り上げていきたいと思いますという理念的な方向性だけで、具体的にはこれからです。予算措置が必要になりますので、3 月議会に新年度予算案を提案する 2 月頃には内容が見えてくると思います。